



安全・適正就業だより

☆☆☆☆事故防止、急ぐな、あせるな、気をめくな（全国統一スローガン）☆☆☆☆

巡回視察報告 事故0を目指して

9月6日、秩父市立秩父第一中学校を視察しました。ここには、校務員4名が2班に分かれ1週間交替で就業しています。校務員室には業務に使用する用具がきちんと整理されて保管してありました。また、毎週1回業務責任者が訪問し、学校と校務員間の仕事の連絡調整を行っています。

10月4日、秩父市立秩父第一小学校で行われた「仲良し体育祭」で駐車場班の就業現場を視察しました。6名の会員が分散して就業していました。各場所の連絡は個人の携帯電話を利用しています。契約に休憩時間が取られていないので昼食などの時、気を遣うなどの話がありました。こちらからの指摘事項はありませんでした。



【出張研修】安全・適正就業委員会

10月24日、埼玉県民活動総合センターで行われた安全就業研修会に清川委員長、杉田副委員長、鈴木副委員長、萩原委員、嶋田(事務局)の5名が参加しました。次のような話がありました。

- ・安全は全てに優先し、「自分の安全は自分で守る」という意識を持つことが大切である。
- ・人は自分で決めたことは守る。
- ・「自己啓発」を支えるものは意欲（やる気）である。これは、他から与えられるものではなく、あくまで自分の内部から起こってくるものである。
- ・「安全確認」、事故要因が何なのか反省することなく、そのまま放置されている事が多い。
- ・視覚理解6割、聴覚理解2割。その他。
- ・事故要因として、マンネリ化（慣れ）、このくらいは、もう少しだから、相手との相性が悪い（気が合わない）などが多い。
- ・ヒヤリハットは事故が起こる前兆である。

